

はじめに

東大寺には、日本を代表する古文書・典籍が伝来している。それらは『東大寺文書目録』全六巻（奈良国立文化財研究所編、一九七九年～一九八四年）等によつて目録が整備され、日本の歴史・文化の研究に大いに寄与している。その結果、多くの文書・典籍が東大寺文書・東大寺聖教等として国宝・重要文化財に指定されている。その一方で東大寺には、未だ目録が存在せず研究に活用できない史料が多く存在する。それらの目録化は、東大寺・奈良、ひいては日本史・仏教史等の研究上、焦眉の課題である。本報告書は、そのような史料群である新修東大寺文書聖教の、悉皆的な調査研究の一部をなすものである。

新修東大寺文書聖教は東大寺図書館が所蔵する文書・聖教類で、江戸時代を中心とする東大寺関係的一大史料群である。そこには、東大寺・その末寺・領地・周辺地域の、宗教・政治・経済等々に関する、膨大な情報が記録されている。従来は量の多さゆえに調査が行き届かず、利用が難しい状態だった。そこで平成十三年度（一〇〇一）にその悉皆的な調査を開始した。それ以降二〇年以上の一間、科学研究費補助金によつて調査を実施している。

本書には、平成二十六年度（一〇一四）以降の調査研究成果を収録した。第七八函（第一〇〇函）の調査を実施し、その目録を本書の目録編に掲載した。また、新修東大寺文書聖教を用いた考察をおこない、論考を論考編に掲載した。ただし調査研究の主眼は、できるだけ多くの史料を目録化して公表する点に置いたため、考察すべくして考察できていない論点も多々存在する。それらは他日を期し、現状の成果を取り急ぎ公表するものである。今後本書が、東大寺・南都仏教・奈良に関する基礎史料として活用されることを祈念している。

本調査研究は、科学研究費補助金「南都の未整理文書聖教にもとづく寺社こそ

の周辺社会の調査研究」（基盤研究（B）、研究代表者吉川聰、平成三〇年度～令和五年度）の成果の一部である。当初は令和四年度までの予定だったが、新型コロナウィルスの流行のため令和二年度～三年度は原本調査を中断せざるを得ず、それに対応して令和五年度まで研究期間を延長した。またこの研究課題は「東大寺を中心とする南都の未整理文書聖教の復原的調査研究」（基盤研究（B）、研究代表者吉川聰、平成二六年度～平成二九年度）を継続したものであり、両者の成果を含んでいる。よつて本書に掲載したのは、平成二六年度から令和五年度にかけての調査研究である。

平成二六年度から現在までの間、本調査に従事したのは下記の者である。

吉川 聰 研究代表者 奈良文化財研究所文化遺産部歴史研究室長

横内裕人 研究分担者 京都府立大学文学部教授

橋 悠太 研究分担者（令和五年度） 奈良文化財研究所文化遺産部歴史研究室アソシエイトフェロー

坂東俊彦 東大寺史研究所研究員

富田正弘 富山大学名誉教授

杉本一樹 奈良文化財研究所 都城発掘調査部 客員研究員

遠藤基郎 東京大学情報学環・史料編纂所教授

水谷友紀 京都府立大学共同研究員

小原嘉記 京都女子大学文学部准教授

宇佐美倫太郎 元歴史研究室派遣職員、現福井県生涯学習・文化財課主任

山田淳平 元歴史研究室派遣職員、現奈良県文化・教育・暮らし創造部

文化財保存課 美術工芸担当 主査

山本倫弘	元歴史研究室有期雇用職員、現日光山輪王寺 学芸員	殷 捷	元歴史研究室派遣職員
竹貫友佳子	京都府立大学共同研究員	坂本陽太	歴史研究室学生アシスタント
大田壯一郎	元歴史研究室派遣職員、現立命館大学文学部教授	長家光笛	歴史研究室学生アシスタント
吉永隆記	元歴史研究室派遣職員、現京都精華大学特任講師	ドゥーリナ アンナ	歴史研究室学生アシスタント
中町美香子	元歴史研究室有期雇用職員、現花園大学文学部准教授	村上孟謙	歴史研究室有期雇用職員
谷本 啓	元歴史研究室有期雇用職員	写真撮影	
三輪眞嗣	元歴史研究室派遣職員、現金沢文庫学芸員	井上直夫	元奈良文化財研究所 企画調整部写真室
石津裕之	元歴史研究室派遣職員、現東京大学史料編纂所助教	栗山雅夫	奈良文化財研究所 企画調整部写真室 専門職員
松浦智博	元歴史研究室派遣職員・現京都府立京都学・歴彩館 京都学推進課 京都学推進研究員	飯田ゆりあ	奈良文化財研究所 企画調整部写真室 主任
張 思捷	元歴史研究室有期雇用職員、現三江学院外国语学院日本語科講師		
長村祥知	富山大学大学院文学研究科人文科学系 講師		
勅使河原拓也	元歴史研究室派遣職員、京都大学文学部非常勤講師		
岩永紘和	歴史研究室有期雇用職員		
山本祥隆	奈良文化財研究所 都城発掘調査部 主任研究員		
板谷寿美	元歴史研究室派遣職員、現徳川美術館 学芸部 学芸員		
安永 寛	京都大学大学院文学研究科博士後期課程		
青木貴史	元歴史研究室派遣職員、現文化庁文化財第一課 文化財調査官		
鈴木 蒼	元歴史研究室派遣職員、現宮内庁書陵部 編修課 研究官		
高橋大樹	大津市歴史博物館 学芸員		
栗原正東	歴史研究室有期雇用職員		
今村 凌	元歴史研究室派遣職員、現京都府立京都学・歴彩館 京都学推進課 京都学推進研究員		
阪東寛之	元歴史研究室派遣職員、現堺市博物館 学芸員		
新林力哉	歴史研究室有期雇用職員		

研究調査の遂行に当たっては、東大寺の執行部の皆様・東大寺図書館の皆様の周辺社会の調査研究（基盤研究（B）、研究代表者吉川聰、平成三〇年度～令和五年度）の成果の一部である。本調査研究においては、本書以外にも左記の二冊の成果報告書を刊行している。

『元奈良町 清水家資料調査報告書』

平成三〇年度～令和四年度科学研究費補助金（基盤研究（B）「南都の未整理文書聖教にもとづく寺社とその周辺社会の調査研究」成果報告 第

一冊 吉川聰編集、二〇二三年

『京都市歴史資料館所蔵 燐心文庫本東大寺文書調査報告書』

京都府立大学文化遺産叢書 第三一号 横内裕人等編集、二〇二四年

（吉川 聰）